

1 CD4が陰性であった成人T細胞白血病/リ
2 ンパ腫の一症例

3
4 ○三上昌章 長津知嗣 綿引一成 松林恵子
5 (千葉県がんセンター臨床検査部)

6
7 【はじめに】成人T細胞白血病/リンパ腫(以下ATLL)
8 はHTLV-Iを原因ウイルスとして発症する難治性の
9 リンパ増殖性疾患であり、急性型では末梢血中に出
10 現する花弁状細胞が特徴とされている。またATLL
11 の細胞表面形質はCD2, CD3, CD4, CD25, HLA-DR陽
12 性, CD7, CD8陰性が一般的である。今回我々はCD4
13 陰性のATLL症例を経験したので報告する。

14 【症例】66歳女性。千葉県出身。2013年6月頃より
15 食欲不振が出現し全身発疹を認めたため7月に近医
16 受診、超音波にて膈頭部腫瘤、腹水を認めた。8月
17 に精査目的にて当センター消化器内科受診、同月
18 に行われた造影CT検査にて多数のリンパ節腫大を認
19 め、家族歴によりATLLの疑いで血液腫瘍内科へ転科
20 となった。

21 【検査結果】末梢血:WBC $8.9 \times 10^3/\mu\text{l}$ (Neu56%, Ly7%,
22 Mono13%, ABN-Ly20%), RBC $405 \times 10^4/\mu\text{l}$, Hb 13.6g/dl
23 PLT $12.9 \times 10^4/\mu\text{l}$, LDH 668IU/l, Ca 8.9mg/dl, 可
24 溶性IL-2R 35600U/ml, ATLV定性(CLIA法)陽性,
25 ATLV量(CLIA法) 113.37s/co. 骨髄:有核細胞数
26 $13000/\mu\text{l}$ (ABN-Ly 17.0%), これらABN-LyはFCMで
27 CD3, CD5, CD25陽性, CD4, CD7, CD8陰性という結
28 果となり、免疫組織化学染色(以下IHC)でも同様の
29 結果となった。リンパ節のIHCにおいても骨髄同様の
30 結果であった。これら上記の検査結果に加え、
31 HTLV-Iプロウイルスが証明されたことにより
32 ATLL(急性型)と診断された。

33 【まとめ】今回当センターで経験したCD4陰性ATLL
34 は報告数も少なく非常に稀な症例である。当センタ
35 ーにおいて2001年から2013年の間でATLLと診断さ
36 れた23症例と比較しても検査所見上有意な差はみ
37 られなかった。CD4陰性であることと臨床的意義の
38 関連は不明であるが、その存在に関して知っておく
39 必要がある。連絡先 043-264-5431 内線 3710